

●協働学習

■児童生徒自主学習型

実践タイトル タブレットPCで三部合唱の練習をしよう

本時のねらい

音の重なりを感じながら歌えるようになること。そのために旋律の音程を正しくとって歌えることが三部合唱になったときの大切な要素となる。そこで、各パートの音取りのためにタブレットPCで旋律を再生しながら練習し、児童が教え合いながら学習できるようにする。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

タブレットPCにパートごとの旋律を入力しておくことで、練習したいパートを自由に選んだり、人数の組み合わせを自由に選んだりして自分たちのペースで練習ができる。

PC教材

音楽作成ソフトウェアを使って教師自作によるパートごとの旋律を入力しておくことで、選んだ旋律を自動演奏することができ、それに合わせて児童が何度も練習することができる。

参考にしてほしいポイント

- ・3部に分かれて練習をするときは、練習の音源の確保や旋律を演奏する技術の差が出て練習が進まないことがあるが、タブレットPCを操作し自動演奏を聞くことで、どのパートでも同じように音符を正しく練習することができる。
- ・自分のパートだけでなく、他のパートの音を聴きながら音を重ねることができる。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	0 ○既習の曲をリコーダーで演奏する。 ○既習の曲を歌う。 ○「それは地球」の主旋律を全員で歌う ○めあての確認をする。 10 ■三部合唱の練習をしよう	・電子黒板(宇宙から見たカラーの地球の映像を見せ、意欲を高める)
	展開	○学習の進め方を知る。 ○「それは地球」のパート練習をする。 ・タブレットPCを操作しながら自動演奏に合わせて歌う。 ・自動演奏に合わせて数人で歌い、聞き手は音が合っているかアドバイスをする。 35 ・別のパートの旋律を自動演奏させ、それに合わせて歌う。	・電子黒板(タブレットPCを使った時の旋律データを起動、選んだ旋律の再生、演奏停止、音量調節の仕方を伝える)(写真1) ・タブレットPC(写真2)
	まとめ	45 ○「それは地球」を三部合唱する。	・タブレットPC(合唱を動画で撮影し、再生した演奏を聴き、音が重なっているか確かめる)(写真3)

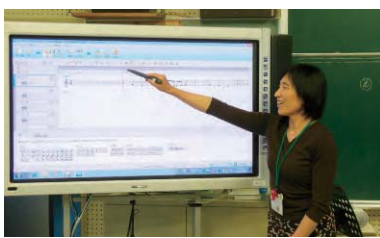


写真1: タブレットPCの使い方、練習の仕方を知る



写真2: タブレットPCの演奏でパート別練習をする



写真3: クラスで合唱して和音のひびきを確認する

児童生徒の反応

- ・音程を何度も確かめながら歌うことができるので、自信を持って声を出すことができた。
- ・タブレットPCの操作だけなので演奏の技術に左右されずに、すぐに旋律を自動演奏させて練習することができる。

活用効果

評価の観点	・音楽への関心・意欲・態度 ・音楽表現の技能
具体的変容	児童同士が声をかけ合い、音程を正しく歌えているか聴き合って教え合い、学習を進めていた。また、十分でないところは繰り返し練習をすることができた。自分のパートの音や別のパートの音を聴いて音を重ねて歌うことができた。

実践の手応え

児童がタブレットPCを用いることで、3つのパートに分かれてもそれぞれが自分たちのペースで旋律の音程を正しくとる練習ができた。